

森のおくりもの4月



カタクリ（ユリ科）



イラスト：河合 遥（レンジャー）

自然観察の森の新たな年度の始まりです。と言っても、森の動植物には年度自体は関係ありませんが、たくさんの植物や動物が一斉に現れ活動をはじめ季節であることにはかわりはありません。そんな賑やかな森とともに、今年もスタッフ一同、皆様のお越しをお待ちしております。

（館長 菊池正行）

まるで蠟細工のような花 オオバクロモジ (黒文字)

4月半ばを過ぎると淡い黄色で、少し透明感のある蠟細工のようなクロモジの花が咲きはじめます。(であいの道に多く見られます。)

雄と雌の木が別(雌雄異株)なので、よく見るとめ花の方は真ん中の白いめしべが目立ちます。見つけたら是非、虫めがねなどで雄花と雌花を見比べてみてください。花柄にも毛があり、すかしてみると白くきれいです。

また、自家受粉できないので、誰かに花粉を運んでもらわなくては、実をつけることができません。蜜は、花の浅い位置にあることから、花粉を運ぶ役割をするのは、口吻の短い虫なのではないでしょうか。小さな甲虫が潜っているのをみかけます。

クロモジの名前の由来は①若枝の樹皮に黒い斑点模様があるため、②実が黒いことから「黒木」となり、昔宮中に仕える女房が黒木の枝で作った楊枝のことを女房詞の「もじ」をつけて「クロモジ」と呼んでいたことから、など、いくつか説があります。今では、歯間ブラシのように使う楊枝ではなく、和菓子を食べるのに使う爪楊枝として売っていますね。

●葉の展開と同時に、枝先に房状に多くつきます。こんなにたくさん花をつけても実になるのは2、3個ほど。



●写真の花は雄花です。おしべが9個。おしべの1つをよく見ると、カエルの顔に見え・・・ないかな？

●雌花は真ん中に白いめしべが1個と9個の仮おしべがあります



●冬芽も特徴のある形なので、わかりやすい。

匂いを嗅いでみよう

クロモジは葉を触るとよい香りがします。葉や樹皮などに芳香のある精油成分が含まれており、葉枝を蒸留して、黒文字油を採り、石鹸や化粧品の香料として使われていました。輸出もされていたようです。今でも、クロモジ油を売っているところがあります。

●精油成分

リナロールという、スズランのような香りが主成分で、6月と7月では葉の強く香る成分が少し変わるようです。梅雨のころから香り比べてみませんか？違いが分かるでしょうか？

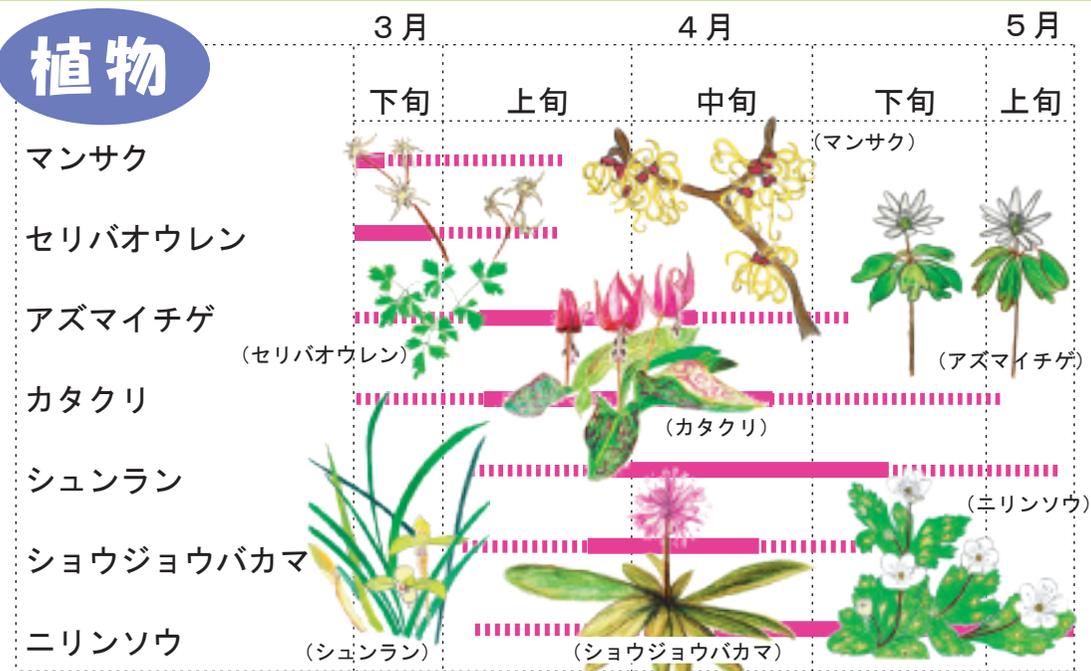
精油成分には、抗菌効果もあり、江戸時代、歯ブラシの代わり(ふさ楊枝)や、爪楊枝(歯間ブラシのようなもの)に使われていました。

【レンジャー：黒川周子】

*他にも、束ねた枝を垣根の材料にしたり(黒文字垣)、お茶にしたり(クロモジ茶)、いろいろな利用があるようです。
*観察の森にあるのは、クロモジの変種で、葉がクロモジより大きいオオバクロモジです。

4月の生物ごよみ

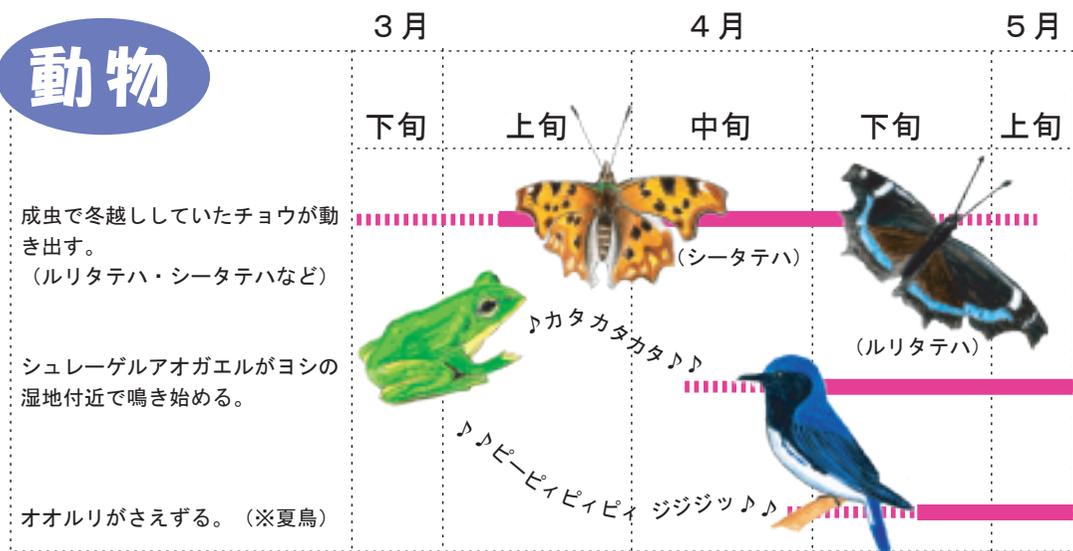
植物



カタクリは3月18日に蝶の野原で可憐な花を咲かせました。4月は植物にとって開花ラッシュに入るので日々新しい花が咲き始めます。(昨年の4月の開花数85種類。)春の訪れを知らせてくれるウグイスは3月19日に『ホーホケキョ』と綺麗なさえずりを聞かせてくれました。山も日々、姿を変えるので毎日が目を離せません。

【レンジャー：齋 正宏】

動物



【レンジャー：齋 正宏】

※夏鳥 春に東南アジアなどの越冬地から日本に渡ってきて繁殖し、秋には帰っていく鳥。日本にいる期間は種類によって違うが、おもに3月～10月の間になる。

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

はっけんメモ その11

『ショウジョウバカマで観察してみる！』

葉っぱのロゼットと花茎かけいのトウダチ

春に咲く花が暖かな日差しの中で輝いています。カタクリ、シュンラン、ニリンソウ・・・それぞれ個性的で可愛らしい春の花。紹介したい花はたくさんありますが今回取り上げるのは「ショウジョウバカマ」

ショウジョウバカマ（猩々袴）はユリ科の多年草。やや湿った場所が好きなので、観察の森では「であいの道」、「やすらぎの道」、「みはらしの道」の北斜面に咲いていることが多いようです。



森で見かける花の形と、図鑑に掲載されている写真やイラストがちょっと違うと感じる方もいるのでは？

実はショウジョウバカマは花が咲いてからも茎がどんどん伸びるのです。花の咲き始めは花のついている茎（花茎）が短いのですが、春から初夏にかけて花茎が長く伸びて種を飛ばす頃には30cmほどになります。この、花茎の伸びる現象はトウダチ（臺立ち）と呼ばれます。春の味覚”菜の花”はこのトウダチ部分を味わっています。家庭菜園をしている方は白菜やキャベツに花がついてがっかり・・・なんてこともありますよね。

ショウジョウバカマの花茎が伸びる様子。



ショウジョウバカマの特徴である地面に張り付くように放射状に広がる葉っぱ。これはロゼットと呼ばれる構造です。円形に重なり合う葉っぱが八重咲きのバラの花のように見えることがその名の由来。ロゼット状の葉っぱをもつ植物は他にもたくさんあり、タンポポやオオバコがその代表格です。

冬の間は背丈の低いロゼット状の葉にして寒さに耐え、春になると茎を伸ばす植物の仲間もいるので、森の中で探してみてくださいね。

【レンジャー：河合 遥】



イベントの報告



今回は、3月21日（土）に行われた、森の講演会「里山の動物と人のかかわり」のイベントのご報告をします。

今回は、東北野生動物保護管理センター代表の宇野 壮春さんを講師にお招きして、イノシシやクマ、サル、シカ等の野生動物のついて、スライドや動画での映像を交えながら全国各地での調査研究を基にしたお話しをして

いただきました。野生動物の行動特徴や、生息の分布の変化等について、データを提示しながらとても分かりやすく、また、楽しく説明していただきました。実際の動物の頭骨の標本もを見せていただき、参加者の方々も興味深く過ごせた時間でした。

※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、「イベントのお知らせ」でご確認下さい。



イノシシやクマの頭骨の標本には、びっくり！



イノシシの糞り跡がたくさんあります。



ごあいさつ



昨年の4月より、お世話になっておりましたが、この度3月末日を持ちまして、この太白山自然観察センターを退職することとなりました。分からないことばかりの1年間でしたが、この観察の森の四季の中で、いろいろな動物や植物たちとの出会い、そして、巡回中に声をかけていただいたり、ガイドウォークで、お話しをさせていただいたりした、この森を利用させていただいている皆様との出会いが私の宝物となりました。みなさん、これからも自然観察の森で、気持ちの良い時間を過ごしていただければと思います。本当にありがとうございました。

【レンジャー：鷺 千尋】



4月のイベント & お知らせ

◆おはよう野鳥かんさつ

・春の雑木林を歩きながら野鳥を観察します。

日 時：4月11日（土）6：30～8：00

申込み不要です。時間までに観察センター前までお越し下さい。



◆太白山の春をたずねて

・春の太白山に、講師による説明を交えながらゆっくり登ります。

日 時：4月29日（水・祝）10：00～15：00

定 員：20名〔先着〕

持ち物：歩きやすい服装と靴、昼食、飲み物、雨具

申込み：4月7日（火）午前9時より電話で



◆ゴールデンウィーク限定！特別ガイドウォーク

・ゴールデンウィークは、自然観察の森へでかけよう！

レンジャーと一緒に、草花に彩られた森を散策してみませんか？

開催日：5月4日（月・みどりの日）、5日（火・こどもの日）、6日（水・振休）

時 間：10：00～11：30

申込み不要です。時間までに観察センター前までお越し下さい。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

4月の開催日は

5日、12日、19日、26日です。

開催時間：午前 10:00～11:30
午後 1:30～ 3:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよ！！

4月の休館日

6日、13日、
20日、27日、



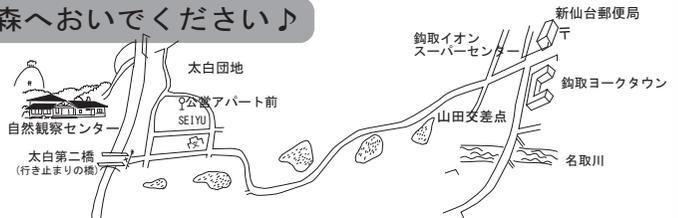
宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



スタッフBLOG開始しました！
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

「社のひろば」URL：<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2015年4月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL：022-244-6115 FAX：022-244-6133

E-mail：taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp